

かわら版あおば消防通信 38号

平成 29 年 1 月発行：横浜市青葉消防署 協賛：青葉火災予防協会

平成 28 年 青葉区は火災が減少、救急は増加しました！

【平成28年の火災概況（速報値）】

青葉区の火災件数は51件で、前年と比較して3件の減少となり、出火原因の1位は「放火」15件（29%）、2位「こんろ」7件（14%）、3位「たばこ」6件（12%）となっています。

横浜市内の火災件数は753件で前年よりも3件増加しましたが、平成28年は昭和31年以来3度目の700件台となり、2年連続となりました。

さて、そこで実際に発生した火災事例とともに、出火防止のチェックポイントを記載したので、出火防止にご協力ください。

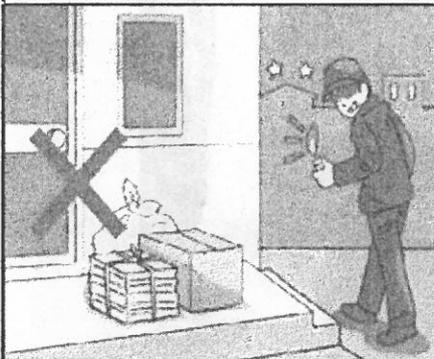
<青葉区 火災件数>

		28年	27年
火災件数		51件	54件
火災種別	建物	28件	29件
	車両	4件	8件
	その他	19件	17件

<主な出火原因>

		28年	27年
1位	放火	15件	9件
2位	こんろ	7件	6件
3位	たばこ	6件	7件

住宅火災の原因ワースト3



夜間に出したゴミに放火され出火

出火防止チェックポイント

- ゴミは収集日の朝に出す
- 家の周囲を整理整頓し明るくする
- 屋外に燃えやすいものを置かない



てんぷらを揚げている最中にかかってきた電話で話し込んでしまい出火

出火防止チェックポイント

- 調理中にその場を離れない
- 安全装置（Siセンサー）付きコンロを使用する
- 周囲に燃えやすいものを置かない



火種の残ったタバコの吸い殻をゴミ箱に捨ててしまい出火

出火防止チェックポイント

- 寝たばこは絶対にしない
- 吸い殻を灰皿に溜めない
- 吸い殻は完全に消してから捨てる

【平成 28 年の救急概況】

青葉区の救急件数は10,942件で、最も多かった平成27年と比べて640件（6%）増加となりました。これで7年連続の増加となりました。

この救急要請の内の約17%はケガなどによるものです。また、住宅内でケガをして救急搬送される中の約70%が「転倒・転落」によるものです。この「転倒」を防ぐための『転倒予防体操』を裏面に掲載しましたのでご覧ください。

「転倒予防体操」で転びにくい身体をつくりましょう！

「転倒予防体操」とは、短時間で手軽に行える3つのポーズを7秒間静止するだけで、転びにくい身体づくりができます。

この体操を日々行うことで転倒によるケガを防いで、元気に過ごしましょう。

注意！ 無理せず、自分のできる範囲で楽しみながら行いましょう。
高齢者の方は、補助者をつけて行ってください。

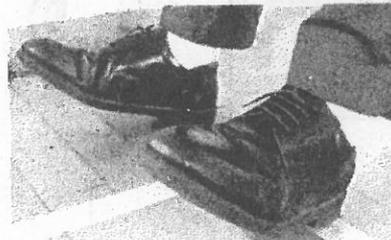
①ランニングポーズ



その場でランニングのポーズをとります。
関節は全て90度に保ちましょう。

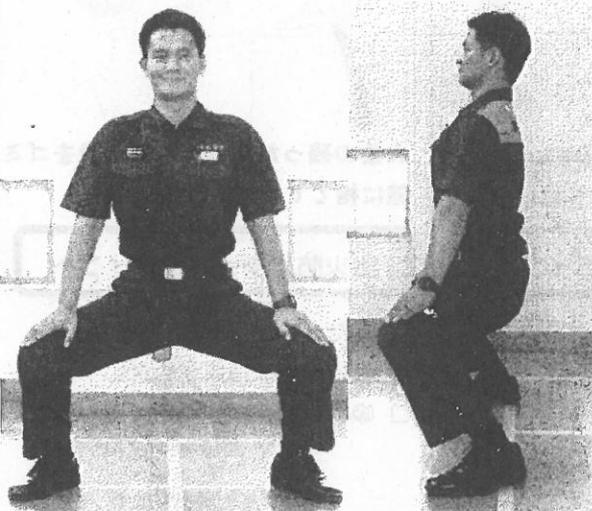
②つま先上げ

踵立ちとなり膝を伸ばし、つま先を上にあげた状態を保ちましょう。壁などに手をついても構いません。



③股割り

背筋を伸ばして足を大きく開き、膝とつま先が同じ方向に向くようにしながら、腰をゆっくり落としていきます。



桐蔭横浜大学
Tokai University of Yokohama

監修：桐蔭横浜大学 スポーツ健康政策学部 桜井 智野風 教授

青葉消防団の主な活動(2月)

18日：分団長研修（指導者研修）

19日：すすきの防災フェア